



5月18日(日) 10:00~11:30 赤羽文化センター第1視聴覚室において、5月例会・手話学習会「手話の楽しさと特徴を知ろう①」を開催しました。講師は手話通訳士の中村みずほ氏です。会員39名、非会員1名、合わせて40名の方にご参加いただきました。

★今回の学習内容★

1. 手話単語を増やしましょう

人差し指1本で表す手話を考える。片手だけでなく両手
人差し指1本で表す手話もOK
例「思う」・「明日」・「手話」・「会う」etc



2. 1で考えた手話単語を使って短文を作りましょう

(例) 「明日は晴れると思います」・「昨日、友達と会って手話で話した」
グループで発表しあう。

3. 表現を工夫して例文練習しましょう 手話単語を位置や動作の方向、速度、強弱、顔や体の表情などを工夫して表現すると、よりわかりやすくなる。

(例文)

- ① 私から彼にFAXします。
- ② 私からあなたにFAXするので彼に送って下さい。
- ③ あなたのFAXを待っています。
- ④ あなたにFAXが送れません。
- ⑤ 私から皆さんにFAXするので、返事を待っています。



4. 表現を工夫して会話しましょう

A: 東京スカイツリーに行ったことある?

B: あります! 高速エレベーターで上がって見た景色は素晴らしいかった。

A: 晴れていると富士山もきれいに見えるでしょう?

B: そう、富士山はきれいだった。でも、怖々(こわごわ)下を見ると足が震えました。

A: 本当! 下を見るのは怖いけど、今度行ったら景色を楽しめます。

B: ぜひ、楽しんできてください!



コミ男とモア子のしゅわ談義



コミ男: 今回の参加者は40名でした。いつもの広い部屋が少し狭く感じられるくらいでしたね。

モア子: 多くの方に参加いただき、嬉しいです。5月、6月は中村みずほ先生に手話の基礎から教えていただくの、手話の勉強を始めたばかりの人にとって参加しやすい企画になっていると思います。

コミ男: そうですね。難聴者は声に合わせて手話を表しますが、手話の特徴である「手の形」「手の位置」「手の動き」などの基本はしっかり身につけたいですね。